



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2020.5月号

新型コロナウイルスまん延防止のための対応について

6月30日まで
臨時休館します

常設展示・企画展示	6月30日まで休止
プラネタリウム	当面の間は休止
行事・ワーキンググループ	当面の間は休止

今後の状況により、休館や行事の予定などがさらに変更となる場合があります
ご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんが、ご理解・ご協力をお願いします

おうちで楽しむ

公開中!



はくぶつかん

臨時休校中でなかなか外出できない子どもたちに向けて、4月16日に新しいホームページ「おうちで楽しむはくぶつかん」を公開しました。家にいながら博物館の資料や情報を楽しんでもらえる内容になっています。ページ内の各コンテンツは随時更新していき、新しいテーマもどんどん追加していく予定です。

～現在公開中のテーマ～ (一部)



あおいちゃんの
昔の暮らし調べ

小学4年生のあおいさんが、家族との会話を通して、昔の道具や暮らしについて学んだことを紹介してくれます。

今の暮らしとのちがいをのぞいてみましょう。



写真でみるおかしの平塚

みなさんがよく知っている風景も、むかしはずいぶんちがってました。

そのちがいを知ると、まちなりたちがわかります。

古い写真でタイムスリップ! してみませんか。



いろいろ生き物

ここでは身近な生き物について、写真やぬりえなどを使って紹介していきます。少しずつ増える予定です。

外に出られるようになったら、ぜひ自分の目で確かめてみてください。



おうちでプラネタリウム

現在、プラネタリウム投影を休止しているため、解説動画をあげてみました。Youtubeにてご覧いただけます。

星の見つけ方がわかったら、ぜひ自分の目で観察してみてください。



ふしぎなミニ博物館
- これなんだ? -

博物館がもっているたくさんの標本。その中でも、ふだんはあまりよくお見せできないのが、「ちっちゃなもの」です。

ここではそんな小さな資料を拡大して詳しくご紹介します。



縄文時代の暮らし

今からおよそ1万年以上も昔には、日本の各地ですでに人々が生活していました。

大昔の人々は一体どのような生活をおくっていたのでしょうか。みつかった遺跡(いせき)をもとに紹介します。

今年度4月より、新館長が就任しました。



このたび博物館長に就任いたしました栗山雄揮です。大学卒業後、出版社、展示業者を経て平成3年に考古学の学芸員として平塚市に採用されて博物館に配属。平成7年からは社会教育課文化財保護担当に席を移して埋蔵文化財の調査や歴史的建造物の保存活用などに携り、平成21年に博物館に戻るという変化に富んだ道を歩んでまいりました。

いろいろな職場を経験してきましたが、常に私の周りには「考古学」と「歴史ファン」がいてくれました。「考古学」や「歴史」というと、ややもすると「そんなものほじくり返して何の得になるんだ」と批判される方もいらっしゃるでしょう。しかし、遠い過去から遙か未来に至る壮大な時間軸の中に「自分」を置いて思考できる能力こそが、人類の特性だと感じています。そして、その能力を最大限に活かして楽しむことができる場所が「博物館」だと信じています。

今、人類は世界中で感染症と戦っています。平塚市博物館のご利用も大幅に縮小しており、心苦しい日々を重ねておりますが、明けない夜は無いと申します。皆様に安心してご来館いただける日が一日も早く来ることを願って、更なるご協力をお願い申し上げます。

